

18年度予算

2月27日～
3月22日

3月定例会

総額 503億7,513万円 決まる

一般会計263億円 特別会計153億6,560万円 企業会計87億953万円

三位一体改革の中で、財源の確保に最大限努力する一方、限られた財源を重点的かつ効率的に配分しながら各分野の要望に対応しつつ、本市の特性を生かした新規施策にも積極的に取り組み、市民の期待に応えられる予算編成に努めた。

市債
通常の借入を20億円以下にとどめる一方、合併特例債7

緑入金
普通建設事業費や扶助費等の増額による財源不足を、基金繰入れにより財源調整をする

市税
景気の回復傾向を考慮し、個人、法人市民税の増額を見込む

歳入(収入)

一般会計予算の内容(抜粋)

歳入(収入)	(単位:千円)
市税	9,152,168 (前年比 3.1%増)
地方交付税	4,984,000 (前年比 5.9%減)
基金からの繰入金	1,187,900 (前年比 9.8%増)
市債	2,993,200 (前年比30.5%増)

歳出(支出)	(単位:千円)
災害時非常用備蓄食糧の更新	1,985
障害者福祉事業	142,775
地域ささえあい事業	7,160
大門中央通り地区市街地再開発事業	54,000
TMO支援事業	12,500
塩尻ビジネス・インキュベーション施設整備事業	489,367
まちづくり交付金事業	698,042
児童・生徒安全対策	4,000
小学校英語活動サポート事業	21,064
元気っ子応援事業	3,130

歳出(支出)

億5千700万円、過疎債7千100万円を充当する

災害時非常用備蓄食糧の更新

大規模災害時の非常用食糧として、市内13校に備蓄食糧を備える

障害者福祉事業

障害者の在宅支援や地域生活を支援し、社会参加の促進を図る

地域ささえあい事業

地域福祉計画の実践を図るため、地域ささえあいマップモデル事業を実施する

大門中央通り地区市街地再開発事業

中心市街地活性化を推進するため、組合施行の市街地再開発事業を支援する

TMO支援事業

継続的なまちづくりを行うためのTMO設立及び運営を支援する

塩尻ビジネス・インキュベーション施設整備事業

旧駅跡地へビジネスインキュベーション施設(起業家支援施設)を設置し、情報関連企業等の創出・集積を図る

まちづくり交付金事業

広丘駅橋上駅舎、堰西えびの子通線、街区公園等を整備する

児童・生徒安全対策

学校内外での児童・生徒の安全を確保するため、防犯ベル、ステッカー、通報システムを整備する

小学校英語活動サポート事業

「中学校につながる英語」に向け、国際理解と生きた英語を学ぶ取り組みを推進する

元気っ子応援事業

子どもの気がかりな状態を早期に発見、対応するため、年中児を対象とした発達相談事業を導入し、継続的支援体制を整備する

一般会計の主な構成比

- ◎人件費 50億 5千525万円(19.2%)
- ◎投資的経費 45億 7千687万円(17.4%)
(建設事業費)
- ◎公債費 35億 7千137万円(13.6%)
(借入金の返済)